【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【公表番号】特表2004-500378(P2004-500378A)
【公表日】平成16年1月8日(2004.1.8)
【年通号数】公開・登録公報2004-001
【出願番号】特願2001-556239(P2001-556239)
【国際特許分類】
*Ａ６１Ｋ　31/575　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　8/63　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　8/72　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　8/00　(2006.01)*
*Ａ６１Ｑ　11/00　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　9/06　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　9/08　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　9/10　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　33/24　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　47/04　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　47/12　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　47/14　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　47/18　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　47/28　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　47/32　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　47/36　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　47/38　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　1/02　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　1/04　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　1/16　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　3/06　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/575
Ａ６１Ｋ　7/00　Ｇ
Ａ６１Ｋ　7/00　Ｊ
Ａ６１Ｋ　7/16
Ａ６１Ｋ　9/06
Ａ６１Ｋ　9/08
Ａ６１Ｋ　9/10
Ａ６１Ｋ　33/24
Ａ６１Ｋ　47/04
Ａ６１Ｋ　47/12
Ａ６１Ｋ　47/14
Ａ６１Ｋ　47/18
Ａ６１Ｋ　47/28
Ａ６１Ｋ　47/32
Ａ６１Ｋ　47/36
Ａ６１Ｋ　47/38
Ａ６１Ｐ　1/02
Ａ６１Ｐ　1/04

Ａ６１Ｐ　1/16　　１０５
Ａ６１Ｐ　3/06
Ａ６１Ｐ　35/00

【手続補正書】
【提出日】平成20年2月5日(2008.2.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　胃炎および消化性潰瘍症を治療する方法であって、
(a) (i) 胆汁酸、胆汁酸の水溶性誘導体、胆汁酸塩、アミド連結によりアミンと共役された胆汁酸、およびそれらの組合せから成る群から選ばれた第１物質；
(ii) 水溶性澱粉転化生成物および水溶性非澱粉多糖類から成る群から選ばれた第２物質；および
(iii) 水、
から成る経口液状剤型の投与を含み、
前記第１物質と第２物質は、二つが全てpH値の選ばれた範囲内の全ての溶液pH値に対し溶液で残留することを特徴とする、
方法。
【請求項２】　剤型は、シロップ、濃いシロップ、およびペースト状から成る群から選ばれる、請求項１記載の方法。
【請求項３】　経口液状剤型は、追加的に製薬的有効量のビスマス化合物を含む、請求項１記載の方法。
【請求項４】　ビスマス化合物は、ビスマスイオンとキレート剤との間の水溶性反応生成物を含む、請求項３記載の方法。
【請求項５】　キレート剤は、クエン酸、酒石酸、りんご酸、乳酸、エイデティック酸およびアルカリ類から成る群から選ばれる、請求項４記載の方法。
【請求項６】　ビスマス化合物は、硫酸ビスマスのアンモニウム塩、クエン酸ビスマスのアンモニウム塩、および酒石酸ビスマスナトリウムから成る群から選ばれる、請求項５記載の方法。
【請求項７】　第１物質は、ウルソデオキシコール酸、ケノデオキシコール酸、コール酸、ヒオデオキシコール酸、デオキシコール酸、７－オキソリトコール酸、リトコール酸、ヨードデオキシコール酸、イオコール酸、タウロウルソデオキシコール酸、タウロケノデオキシコール酸、タウロデオキシコール酸、グリコウルソデオキシコール酸、タウロコール酸、グリココール酸、ステロイド核にあるヒドロキシルまたはカルボキシル酸基におけるそれらの誘導体、それらの塩、またはそれらのアミンとの共役体から成る群から選ばれる、請求項１記載の方法。
【請求項８】　第２物質は、マルトデキストリン、デキストリン、コーンシロップ固形分、可溶性澱粉、およびデキストランから成る群から選ばれる、請求項１記載の方法。
【請求項９】　経口液状剤型は、１種以上の追加的な胆汁酸、胆汁酸の水溶性誘導体、胆汁酸塩、およびアミド連結により共役されたアミン－接合胆汁酸を含む、請求項１記載の方法。
【請求項１０】　経口液状剤型は、追加的に少なくとも１つの乳化剤を含む、請求項１記載の方法。
【請求項１１】　乳化剤は、グアガム、ペクチン、アカシア、カラギーナン、カルボキシメチルセルロース・ナトリウム、ヒドロキシメチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、メチルセルロース、ポリビニルアルコール、ポビドン、トラガカントガム、

ザンサンガム、およびソルビタンエステルから成る群から選ばれる、請求項１０記載の方法。

【請求項１２】　経口液状剤型は、追加的に製薬的有効量の少なくとも１つの薬物を含む、請求項１記載の方法。

【請求項１３】　薬物は、抗生剤、Ｈ２－受容体きっ抗剤、および抗原生動物性薬物から成る群から選ばれる、請求項１２記載の方法。

【請求項１４】　薬物は、アンピシリン、アモキシシリン、セファクロル、セファドロキシル、アジスロマイシン、クラリスロマイシン、塩酸デメクロサイクリン、ドキシサイクリン、塩酸ミノサイクリン、テトラサイクリン、オキシテトラサイクリン、シメチジン、ファモチジン、ニザチジン、ラニチジン、スクラルファート、メトロニダゾール、アトヴァクオン、およびイセチオン酸ペンタミジンから成る群から選ばれる、請求項１２記載の方法。